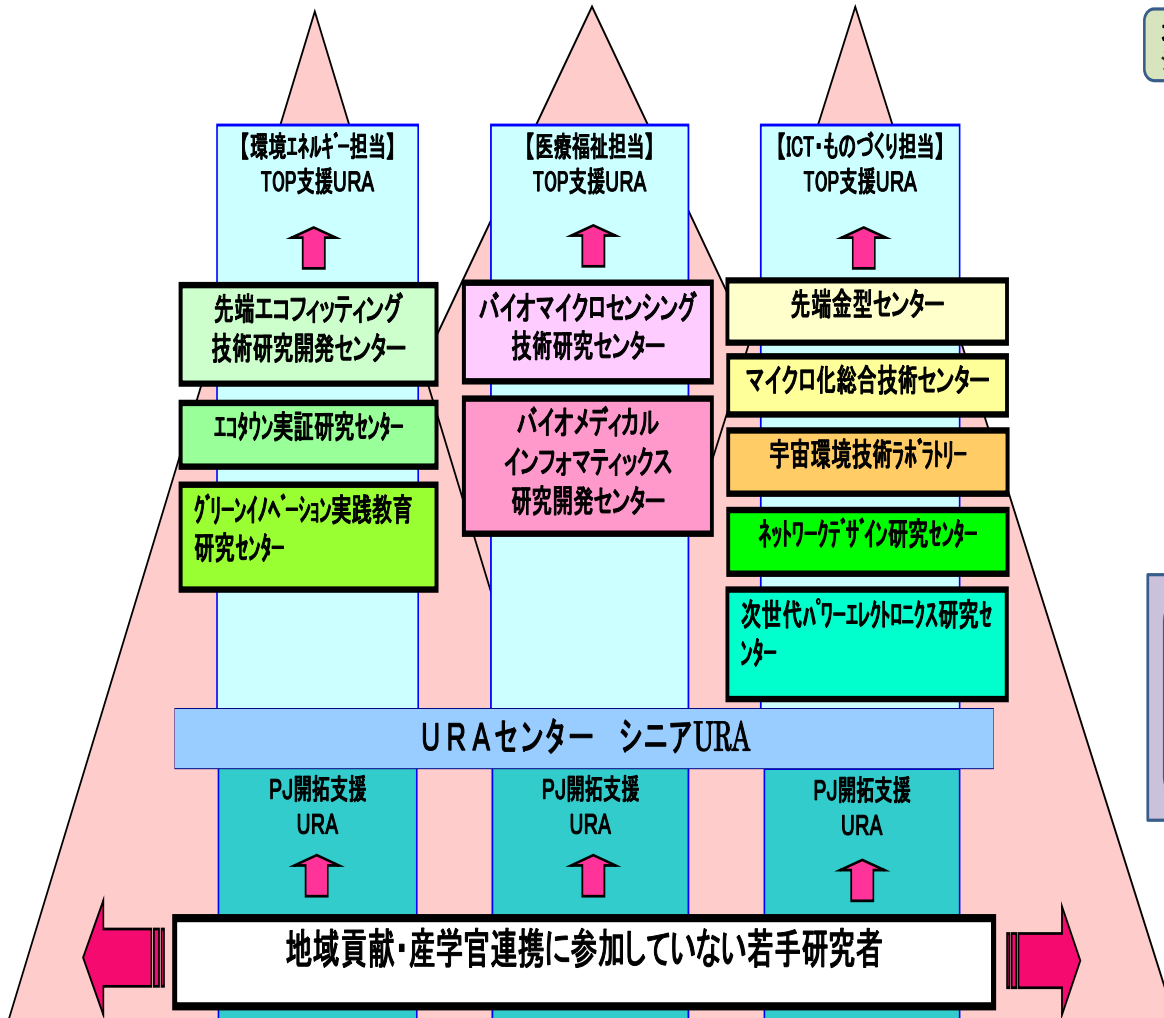


# リサーチ・アドミニストレーションシステムの整備（九州工業大学）

事業実施組織名称：リサーチ・アドミニストレーション・センター

重点分野とその分野の研究センターを、ベテランと若手のURAが機能分化して横断的に支援し、地域・国の産業界に貢献する。

地域産業や行政の取り組みに密着して、人的交流も交えたイノベーションを推進し、地域・国の産業界に貢献する。



北九州市環境未来都市 ~グリーンイノベーションで国家成長戦略の1割を担うという目標~

北九州成長産業戦略推進協議会 ~重点6分野~ 議長:九工大副学長

- 環境**
- 低炭素・省エネ
  - 水・大気、自然環境、生物多様性
  - 3R
- 超高齢化対応**
- 地域医療
  - 地域の介護・福祉
  - 子育て・教育
- その他**
- 復興支援と災害リスクの軽減
  - 国際環境ビジネス

- 地域行政の取組**
- 自動車(カーエレクトロニクス)
  - ロボット・メカトロニクス産業
  - 半導体関連産業
  - 情報通信産業
  - 環境・エネルギー産業
  - 素材・部材産業
- 北九州医歯工連携研究会
- 飯塚市・九工大・麻生病院による医工連携

九州工業大学の重点研究分野: 研究・産学官連携担当 理事・副学長

- |   |   |   |
|---|---|---|
| <p><b>環境・エネルギー</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>先端エコフッティング技術研究開発センター</li> <li>エコタウン実証研究センター</li> <li>グリーンイノベーション実践教育研究センター</li> </ul> | <p><b>医療・福祉</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>バイオマイクロセンシング技術研究センター</li> <li>バイオメディカルインフォマティクス研究開発センター</li> </ul> | <p><b>ICT・ものづくり</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>先端金型センター</li> <li>マイクロ化総合技術センター</li> <li>宇宙環境技術ラボラトリー</li> <li>ネットワークデザイン研究センター</li> <li>次世代パワーエレクトロニクス研究センター</li> </ul> |
|---|---|---|

## 目標設定

- 地域内企業との共同研究率UP
- 外部資金獲得額UP

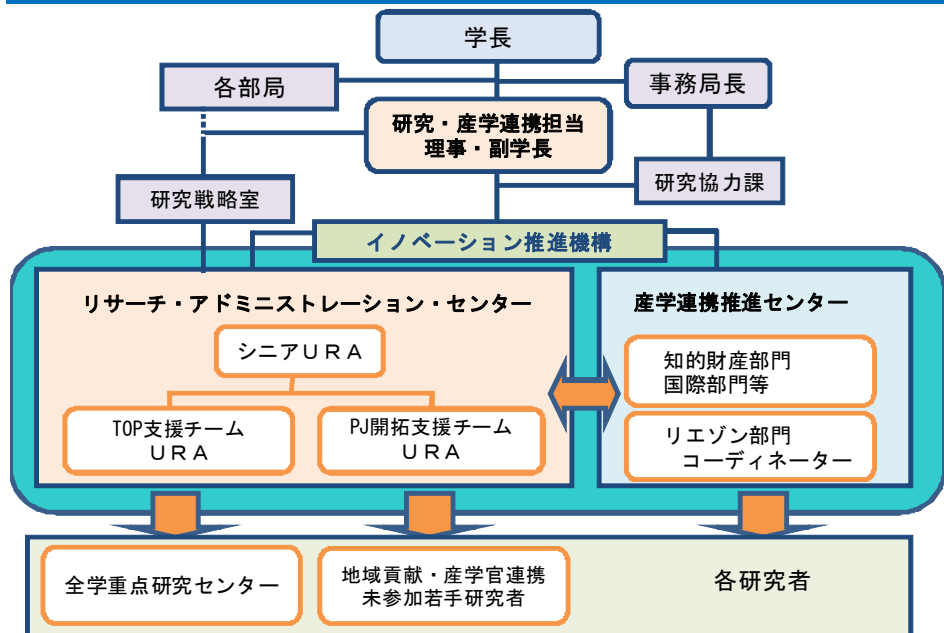
TOP支援URA(若手) と プロジェクト(PJ)開拓支援URA(ベテラン) の 2職種を設け機能分化する。

- TOP支援URA(若手) が TOP研究者を支援 ⇒ 産学官連携の頂(3重点分野研究センター)をより高く
- PJ開拓支援URA(ベテラン) が 若手研究者を支援 ⇒ 産学官連携の裾野(3重点分野)をより広く
- PJ開拓支援URA(ベテラン) が TOP支援URA(若手)を教育・育成

# 組織体制整備・URAの教職員処遇・長期雇用制度の確保計画、地域への浸透

## ➤ イノベーション推進機構を新設し、URAセンターと既存の産学連携推進センターを統合

- ・研究・産学連携担当理事・副学長が機構を統括
- ・URAセンターは研究戦略室の実行支援部隊として機能



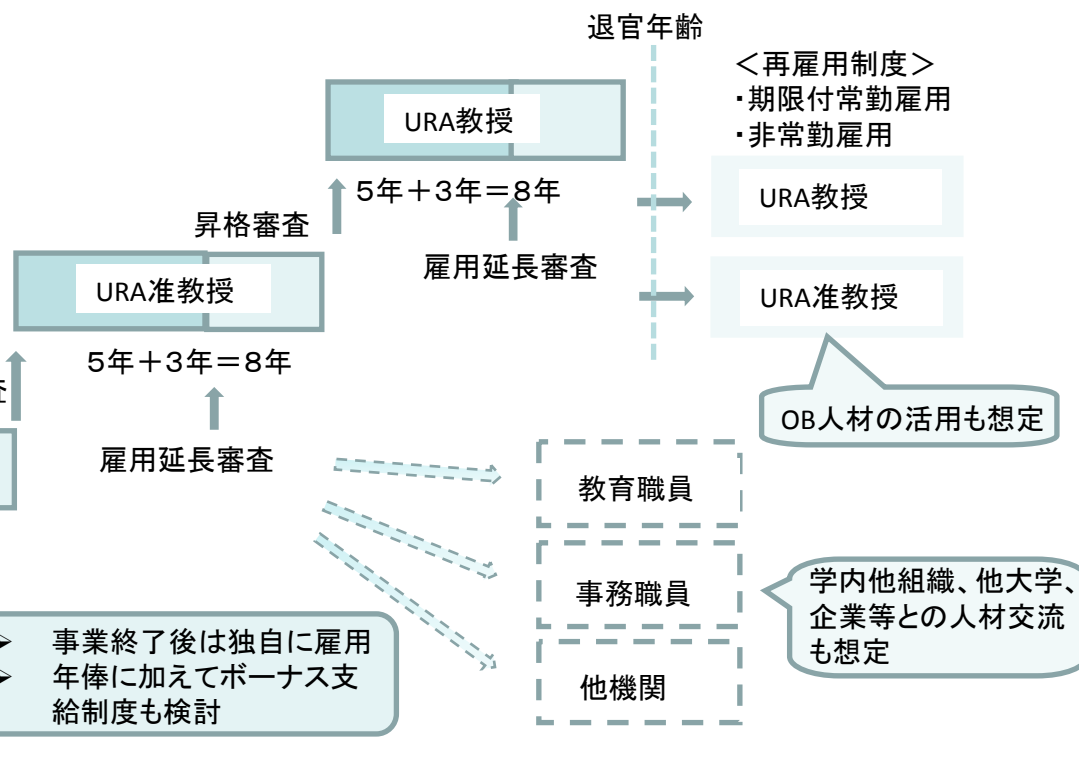
- URAを教育職員として処遇
- 昇格により最長24年の長期雇用が可能となる人事制度を構築
- 学内及び地域におけるURAの定着

～学内から始め地域展開へ～

- ・学内外においてURAの認知度を高め、制度の定着を図る
- ・北九州産業学術推進機構、他大学、公設試、地域行政機関等の地域機関との積極的な交流
- ・地域における認知度の向上と、地域他大学研究機関へのURAの浸透

## ➤ 学内外関連部署が一体となったURA教育・育成

- ・米国短期派遣、関連機関(FAIS)・学内関連部門・重点研究センターで業務体験、定期的な勉強会の開催、スキル標準や研修会、セミナー等の利用



## URA体制整備の為の雇用計画

	補助金雇用	独自雇用	合計
H24	5	1	6
H25	5	2	7
H26	5	2	7